

医療事業

七夕コンサートで癒しのひととき

～短冊に込めたそれぞれの願いごと～



美しいハーモニーが響き渡りました

7月3日(水)、神戸赤十字病院1階玄関ホールを会場に七夕コンサートが開催されました。今年は「コールレインボー」の皆さんによる混声合唱で、「故郷」「春の小川」「朧月夜」などの懐かしの名曲を含む唱歌メドレーや、「しあわせ運べるように」「花は咲く」といった阪神・淡路大震災、東日本大震災の復興支援ソングを含む全7曲が披露されました。

会場には美しい歌声が響き渡り、歌にあわせてリズムを刻む患者さんなど、それぞれが思い思いに聞き入っておられました。また、会場の笹には「家族みんなが健康に笑顔で暮らせますように」「元気に毎日が楽しく過ごせますように」「治療がうまくいきますように」など、たくさんの願いごとが書かれた短冊が飾られていました。

今年は「あなたが選ぶ 彦星&織姫」と題したイベントも行われ、患者さんと病院職員100名以上の投票から選ばれた彦星さまと織姫さまが登場し、会場を盛り上げていました。

青少年赤十字

青少年赤十字提供プログラム

青少年赤十字提供プログラムは、救急法や点字の体験、災害救護活動や海外救援活動などの講演を、特別赤十字奉仕団などのご協力を得ながら、青少年赤十字加盟校で楽しく、分かりやすく、お伝えします。

生命の大切さやボランティアの心を養い、人としてのやさしさを育てるために、赤十字の提供プログラムをご利用ください。



7月にご利用いただいた学校(順不同)

- 国際理解・平和、福祉教育、防災教育
 - 兵庫県立上郡高等学校
 - 神戸市立広陵中学校
- 健康・安全(AEDを使った心肺蘇生等)
 - 宝塚市立宝塚第一小学校
 - 宝塚市立美座小学校
 - 高砂市立鹿島中学校
 - 高砂市立米田西小学校
 - 兵庫県西宮今津高等学校
 - 兵庫県立鳴尾高等学校
 - 神戸市立小東山小学校
 - 兵庫県立舞子高等学校
 - 兵庫県立西宮甲山高等学校
 - 兵庫県立兵庫高等学校
 - 兵庫県立宝塚北高等学校
 - 兵庫県立国際高等学校
 - 兵庫県立明石高等学校
 - 兵庫県立相生高等学校
 - 宝塚市立宝梅中学校
 - 兵庫県立高砂高等学校

救急法等の講習

講習のご案内

～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

日本赤十字社では、いのちと健康を守り安全な生活を送っていただくため、実技を主体とした、初めての方にもわかりやすい各種講習を行っています。

急病や不慮の事故から自身を守り、大切なひとのいのちを救うための正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?

- 講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。
- お申し込み、詳細及びその他の講習についてはホームページで。

内容	開催日
救急法基礎講習	10月 5日(土)
救急法救急員養成講習(2日間)	9月 21日(土)、22日(日)
救急法基礎・救急員養成講習のセット講習(3日間)	9月 14日(土)、15日(日)、16日(月祝) 10月 6日(日)、12日(土)、13日(日)
幼児安全法支援員養成講習(3日間)	10月 14日(月祝)、20日(日)、27日(日)
健康生活支援講習(3日間)	9月 21日(土)、22日(日)、29日(日)

www.hyogo.jrc.or.jp/

赤十字 兵庫

検索

ひょうごの赤十字

2013 8月
AUGUST



- 二星看護師(神戸赤十字病院)からのウガンダ母子保健事業の活動報告
- 創立30周年写真展
- 全国赤十字救護班研修会
- 第47回兵庫県日赤有功会総会
- 神戸赤十字病院七夕コンサート
- 青少年赤十字提供プログラム
- 講習のご案内

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

国際活動

二星看護師(神戸赤十字病院)からのウガンダ母子保健事業の活動報告

～お母さんが安心して出産するために～

ウガンダ共和国は、東アフリカにある九州くらいの大きさの国で人口は約3,300万人です。「アフリカの真珠」と言われるだけあって緑豊かです。アフリカというと暑いイメージがありますが、ウガンダは赤道直下にも関わらず標高が約1,200～1,500mと高いため、乾季は照りつけるような太陽の暑さを感じますが、雨季は雨が降ると肌寒くなることもあります。

日本赤十字社は2010年から、衛生的な出産環境の整備と地域住民への母性保護の普及を目的とした母子保健事業をウガンダ共和国北部2県で実施しています。私は昨年2012年6月～2013年3月までの約9か月間、事業管理要員として派遣され、この事業に関わりました。

2012年末で事業開始から3年が過ぎ、当初予定していた事業期間が終了し、この3年間の事業の成果が確認されました。母子保健についての正しい知識を持った80人のボランティアが、積極的に地域住民との対話集会や妊婦の家庭訪問を行うようになりました。また、国が推奨する4回の産前検診を受け、保健所で出産する妊婦に産前に必要な物品一式が入ったママバッグを配布した結果、事業開始時には妊婦の2割しか保健所で出産をしていなかった状況を、約7割まで改善することができました。

ママバッグは妊婦の間で人気があり、保健所での出産数の増加に大きく貢献していると言えますが、一方でママバッグの数には限りがあり、対象地域のすべての妊婦に配布できるものではないため、地元からは不満や要望の声が上がっています。また交通手段が未発達なウガンダ北部では保健所まで距離があるにもかかわらず、妊婦が歩いて行かなければならない事が多く、産前検診を4回受ける事を阻む要因となっています。

このような課題があることから、日本赤十字社とウガンダ赤十字社は2013年から3年間の事業継続を合意しました。「仕事もしているし自分の時間を割いて活動するのは大変。でもそれが人の役に立っていると実感するからこれからも活動を続けるよ」と話してくれた地元ボランティアの言葉が印象的でした。



ママバッグを使って出産した産婦



地元ボランティアとともに



赤十字奉仕団

創立30周年写真展を開催

～兵庫県写真赤十字奉仕団～

平成25年7月4日(木)から9日(火)までの6日間、兵庫県写真赤十字奉仕団がJR神戸駅南地下街にあるデュオぎやらりーで創立30周年写真展を開催しました。同奉仕団は昭和57年11月1日に団員23人で創立。兵庫県支部が行う様々な赤十字活動の記録写真を撮影していただいています。

写真展では、12人の団員が趣味の写真の力作22点を展示。また、団員が撮影した兵庫県支部の活動写真19点、東日本大震災における救護・復興支援活動のパネル10枚を展示。900人を超える方々に来場いただきました。現在、同奉仕団には県内在住の20人が在籍しており、写真好きな団員を募集していますので興味のある方は兵庫県支部奉仕課(078-241-8922)までお問合せください。



多くの方々に来場いただきました

災害救護

全国赤十字救護班研修会

～超急性期の災害医療対応に必要なスキル習得のために～

7月6日(土)から8日(月)までの3日間、全国赤十字救護班研修会が兵庫県支部を会場に開催されました。受講者は、全国31の支部・施設の医師、看護師、主事等を含む68名。兵庫県からも神戸・姫路・柏原赤十字病院の7名が参加しました。

研修会は、講義、グループワーク、職種別実習を通じ、災害医療の考え方、超急性期の災害医療対応に必要なスキル、こころのケアなど、医療救護活動を行うために必要となる様々な知識の習得や、研修内容をもとに※dERU展開と現場救護、無線通信での情報共有や傷病者の診療・搬送等の総合実習が行われました。

日本赤十字社がめざす災害時医療は、発災とともに直ちに被災地に駆けつけ、被災地の医療基盤が回復するまでの間、継続的に被災者の自立を支援することです。災害医療の知識・技術の習得と救護班全体のレベルアップのため、今後もこのような研修や訓練を続けてまいります。



医師によるトリアージの様子



救護所での診療の様子

※dERU(Domestic Emergency Response Unit)：国内型緊急対応ユニット…大規模災害の発生後、一刻も早く被災地における診療を開始するための大型エアートント、通信機器、医療資機材等の一式を装備し、それを輸送する車両と訓練された要員を含めたシステムの総称

有功会

第47回兵庫県日赤有功会総会

6月26日(水)、ANAクラウンプラザ神戸で有功会員等56人が参加され「第47回兵庫県日赤有功会総会」が開催されました。

太田稔明副支部長(兵庫県健康福祉部長)、神戸市長代理の小原一徳神戸市保健福祉局総務部長から祝辞をいただいた後、平成24年度の事業報告と決算、平成25年度の事業計画と予算について協議が行われ、承認されました。

続いて、米寿のお祝い。今年は大正15年(1926年)生まれの14人の方々と、出席された2人には会長からお祝いが手渡され、会員の皆さんが米寿をお祝いしました。

また、神戸赤十字病院の二星智恵子看護師が「ウガンダ母子保健事業～お母さんが安心して出産するために～」と題した記念講演を行い、会員の皆さんは興味深く聞きいっておられました。



有功会総会の様子



北村会長(左)から米寿のお祝いを受けられる小谷壽さん(右手前)と古渡正人さん(右奥)